



東京藝術大学

文部科学省国立大学機能強化事業
「国際共同プロジェクト」

フィンランド・シベリウス音楽院& 東京藝術大学 交流プログラム

Joint Program in Tokyo Sibelius Academy & Tokyo University of the Arts

テロ・トイヴォネンと共に奏でるホルンの響き
Horn sound with Tero Toivonen



I. ホルンのための音楽 Music for Horn!

A. タカロ: ホルンとピアノのための《好きな誰かを見つける》

J. レト/アウリス・ポウホネン 編曲:
ホルンとピアノのための《ハリケーン》

E. - P. サロネン: 独奏ホルンのための《演奏会用練習曲》

I. ホンギスト: ホルンとピアノのための《麦の道》

J. ブラームス/津村 芳伯編曲:
ホルンとピアノのための《ツイゴイナー風ロンド》作品25-4

T. トイヴォネン/A. ポウホネン 編曲:
ホルンとピアノのための《スペース・タクシー》

II. ホルン・アンサンブルのための音楽 Music for Horn ensemble

Ph. スパーク:
2本のホルンのための《スーパー・デュエット》

T. トイヴォネン: ホルン・アンサンブルのための組曲《花》(2018 世界初演)

J. シベリウス/レイマ・O. ピエティラ 編曲:
ホルン・アンサンブルのための《テンペスト》作品109

山田栄二: ホルン・アンサンブルのための組曲《ファール昆虫記》

E. イウエイゼン: ホルン・アンサンブルのための《夢の橋》

出演

ホルン テロ・トイヴォネン (シベリウス音楽院講師)

日高 剛 (東京藝術大学音楽学部准教授)

東京藝術大学音楽学部器楽科ホルン専攻生

ピアノ 大野 真由子 (東京藝術大学音楽学部非常勤講師)

2018年11月3日(土・祝) 15:00開演 (14:30開場)

東京藝術大学音楽学部 第6ホール 入場料: 無料 全席自由

※就学前のお子様の同伴・入場はできません。また満席の場合はご入場いただけませんので、ご了承ください。
※スケジュール・曲目・出演者等は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

主催: 東京藝術大学音楽学部・東京藝術大学演奏芸術センター

【お問い合わせ】東京藝術大学音楽学部管打楽研究室 050-5525-2339

フィンランド・シベリウス音楽院 & 東京藝術大学 交流プログラム テロ・トイヴォネンと共に奏でるホルンの響き Horn sound with Tero Toivonen

本年、東京藝術大学とシベリウス音楽院との交流プログラムとして、4月に日本からフィンランドに渡航して参りました。1882年にヘルシンキ音楽院として創設され、1939年に卒業生シベリウスの名前を冠して改称されたシベリウス音楽院(Sibelius Academy. 現在はヘルシンキ芸術大学に所属)は、今回のプログラムにもある作曲家・指揮者のエサ=ペッカ・サロネンをはじめ、世界中に一流の音楽家を輩出してきた北欧を代表する音楽院です。素晴らしい教授陣とコンサートホールに加え、各レッスン室には録画・録音・スクリーンが設置され、学生さん達は教育研究に熱心で恵まれた環境にて研鑽を積んでおります。今回はここで教鞭をとられるテロ・トイヴォネン先生をフィンランドからお招きし、ホルン・クラスのレッスン、演奏会を通じて交流を深めます。先生とはドイツ・シュレスヴィヒ =ホルシュタイン音楽祭オーケストラにて知り合い、寝食を共にしながら各国で演奏いたしました。あれから21年という時が過ぎ、お互いに環境も変わりましたが、氏のエネルギーで思いやりのある人柄は全く変わらず、フィンランドで学生と共に研究していく姿においても垣間見ることができました。あたかもタイムスリップしたような気持ちです。今回はホルンという楽器を通じて、フィンランドと日本を繋ぐプログラムを企画いたしました。

日高 剛 (ホルン奏者・東京藝術大学音楽学部准教授)

ホルン:テロ・トイヴォネン Horn :Tero Toivonen



1974年生まれのフィンランドのホルン奏者。2003年シベリウス音楽院修士課程修了。2014年オーケストラと聴衆のアウトリーチをテーマにした論文により同音楽院で博士号取得。この間、18年にわたってタピオラ・シンフォニエッタで演奏し、現在、首席ホルン奏者。1997年以来、エサ=ペッカ・サロネンが共同創設者のフィンランドを代表する現代音楽アンサンブルAvanti!の首席ホルン奏者を務めるかたわら、2018年にヴァンター・ポップ・オーケストラの首席ホルン奏者に選ばれるなど、多面的な演奏活動を繰り広げてきた。アンサンブルではゴールデン・ホルン・クアルテットで演奏し、独奏者としてもフィンランド国内外で活動。ロンドンのウィグモア・ホールのコンサートに対してロイヤル・フィルハーモニー協会賞を受賞している。自らも作曲・編曲を手がけ、またフィンランドの作曲家から多くの委嘱を受けている。2016年よりシベリウス音楽院フレンチ・ホルンの講師。フィンランドのヒュヴィンカーとエスポーの音楽学校や、ニューヨークのマンハッタン音楽学校、香港芸術大学のマスタークラスの講師を務め、今回は東京藝術大学音楽学部に招かれた。

ホルン:日高 剛 Horn : Takeshi Hidaka



長崎大学を卒業後、東京藝術大学、オランダ・マーストリヒト音楽院にてホルンを学ぶ。2000年広島交響楽団に入団、その後日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団、NHK交響楽団ホルン奏者を歴任。音楽と美術のコラボレーション、アウトリーチなど多彩な演奏活動を行う。これまでに、ロサンゼルス、オランダ・マーストリヒト、フィンランド・シベリウス音楽院にてリサイタルやマスタークラスを開催した。現在、東京藝術大学音楽学部准教授。洗足学園音楽大学客員教授、国立音楽大学講師、名古屋音楽大学客員教授を務める。ホルン・アンサンブル「つの笛集団」THE HORN QUARTET メンバー。

ピアノ:大野 真由子 Piano : Mayuko Ohno



東京藝術大学音楽学部卒業、同大学院修士課程修了。第45・46回鎌倉市学生音楽コンクール第2位、第13回吹田音楽コンクール・ピアノ部門第1位、第17回友愛ドイツリート(歌曲)コンクール優秀共演者賞等受賞。大阪センチュリー交響楽団、藝大フィルハーモニア等と共演。大学卒業時、成績優秀者に与えられる同声会新人賞及び読売新人賞受賞、両新人演奏会出演。横浜市栄区民文化センターリリース・レジデンス・アーティスト。現在、東京藝術大学非常勤講師(演奏研究員)および聖徳大学音楽学部講師。

ホルン・アンサンブル:東京藝術大学音楽学部器楽科ホルン専攻学生

Horn ensemble : Tokyo University of the Arts faculty of music department of Instrumental music French Horn major students

東京藝術大学音楽学部器楽科のホルン専攻は、17名の個性あふれる学生(2018年度)で構成されており、日高剛准教授、五十畑勉(東京都交響楽団ホルン奏者)石山直城(NHK交響楽団ホルン奏者)の3人の講師陣のもと、将来の日本を担う演奏家を目指して日々研究を重ねております。専攻生によるアンサンブルの演奏会も積極的に行われており、今回は2019年2月14日東京文化会館小ホールにて W.Sanders 本学招聘教授をお迎えし第30回定期演奏会を行います。2015年8月には、東京藝大ホルン・アンサンブルとして、ロサンゼルスにて行われた国際ホルン協会のシンポジウムに出演し好評を博しました。またその演奏技術の高さとアンサンブルの精密さは世界中のホルン奏者に注目され、今後日本国内外において、より一層の活躍が期待されています。

東京藝術大学音楽学部第6ホール

〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8

交通のご案内

■JR上野駅(公園口)・鶯谷駅(南口)、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

■京成線京成上野駅、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅より徒歩15分

■台東区循環バス「東西めぐりん谷中行き」

2 上野駅入口 → 5-1 東京芸術大学下車 [30分間隔]

※駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

